

Ⅱ. 調査結果

Ⅱ．調査結果

1. 「福岡市の住みやすさ」に関する調査結果の総括

福岡市は、市民100人のうち、

98人が「福岡市のことが好き」で

97人が「福岡市は住みやすい」と感じ

94人が「福岡市にずっと住みたい」と願い

79人が「福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたい」と思っている。

福岡市民は、福岡市のことが好きだから
これからも、住みやすさを実感しながら、住みたい。
そして、周りの人の役に立ちたい。

福岡市は、心豊かに暮らしながら
互いにやさしく支え合うまち。

本意識調査では、「好き」「住みやすい」「ずっと住みたい」「福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたい」の主要指標を毎年継続的に調査し、経年変化を比較分析してきた。

「好き」「住みやすい」「ずっと住みたい」とも、肯定派が9割を超える高水準を維持した。

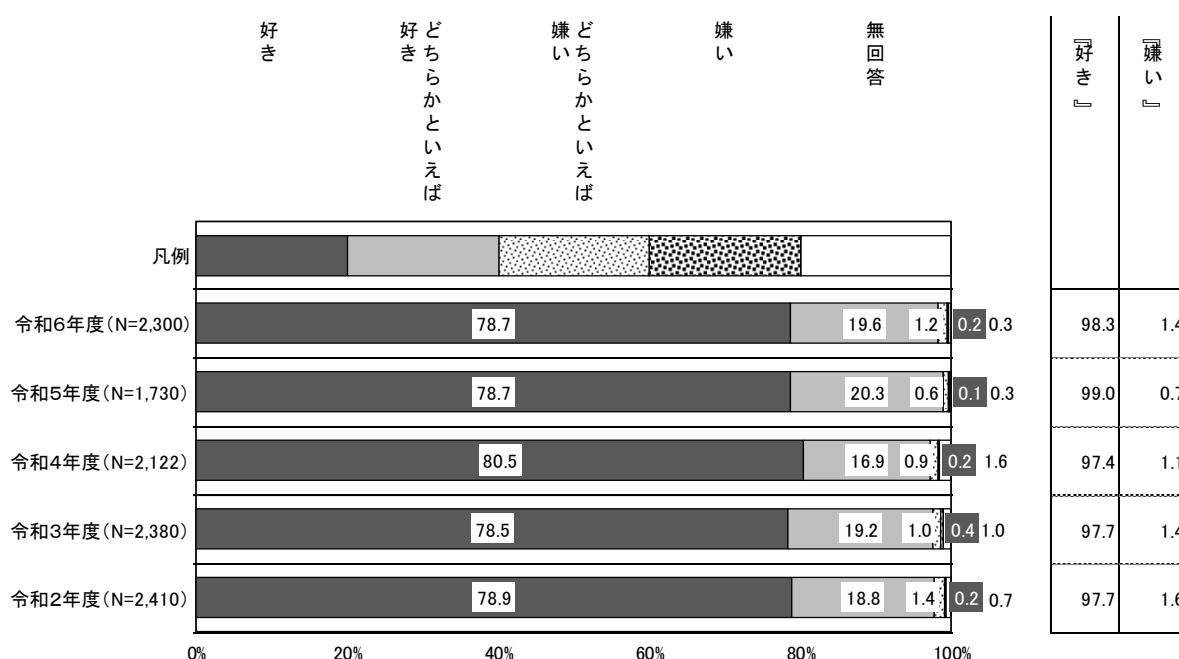
（１）福岡市の暮らしに関する「４指標」の推移

「福岡市が好き」「福岡市が住みやすい」「福岡市にずっと住みたい」「福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたい」という４つの結果指標（以下、４指標という）についてみる。

「福岡市が好き」については、肯定派（＝「好き」＋「どちらかといえば好き」の計）が98.3%と、直近５年では、過去最高を記録した前回に次ぐ割合となった。そのうち積極的肯定の「好き」は、78.7%を占める。

わずかではあるが、否定派（＝「どちらかといえば嫌い」＋「嫌い」の計）は1.4%であった。

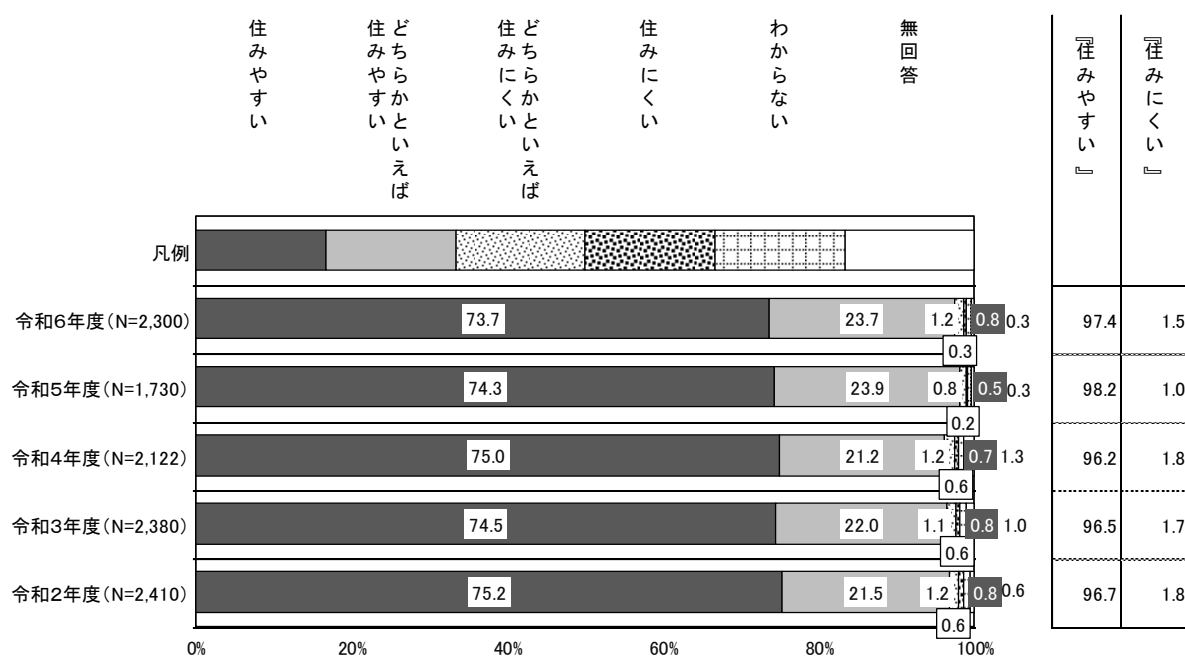
図表 福岡市が好きか【５年間の推移】



「福岡市が住みやすい」については、肯定派（＝「住みやすい」＋「どちらかといえば住みやすい」の計）が97.4%で、直近5年では、過去最高を記録した前回に次ぐ割合となった。そのうち積極的肯定の「住みやすい」が73.7%を占める。

わずかではあるが、否定派（＝「どちらかといえば住みにくい」＋「住みにくい」の計）は1.5%であった。

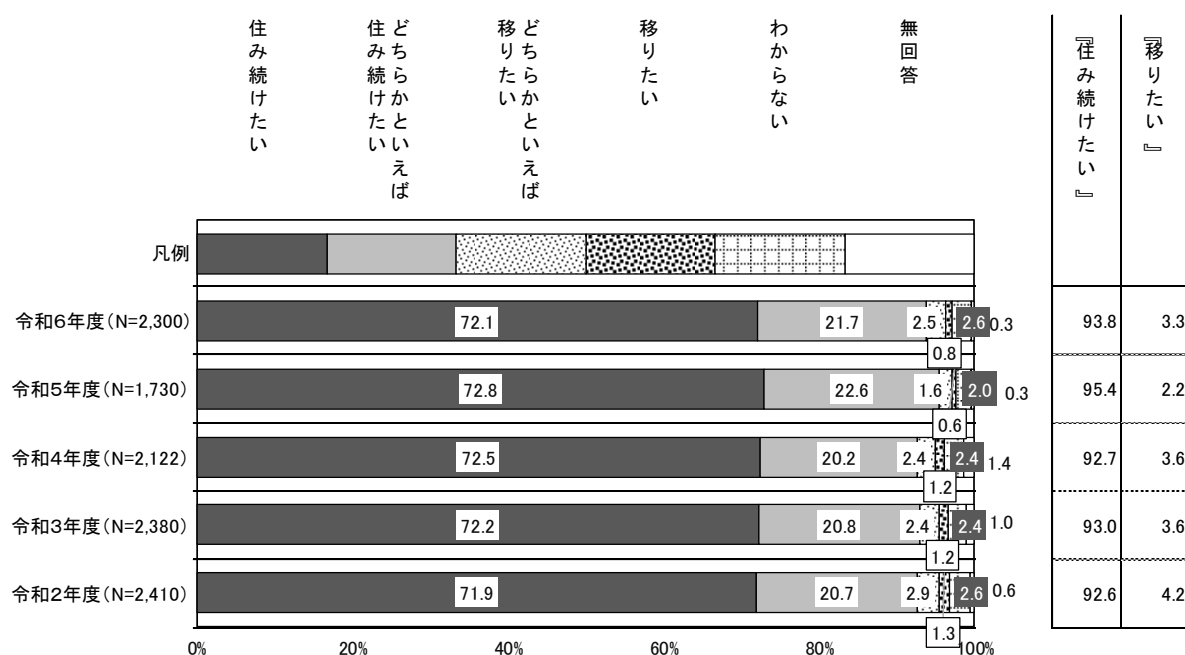
図表 福岡市は住みやすいと思うか【5年間の推移】



「福岡市にずっと住みたい」については、肯定派（＝「住みたい」＋「どちらかといえば住みたい」の計）が93.8%と、直近5年では、過去最高を記録した前回に次ぐ割合となった。そのうち積極的肯定の「住みたい」が72.1%を占める。

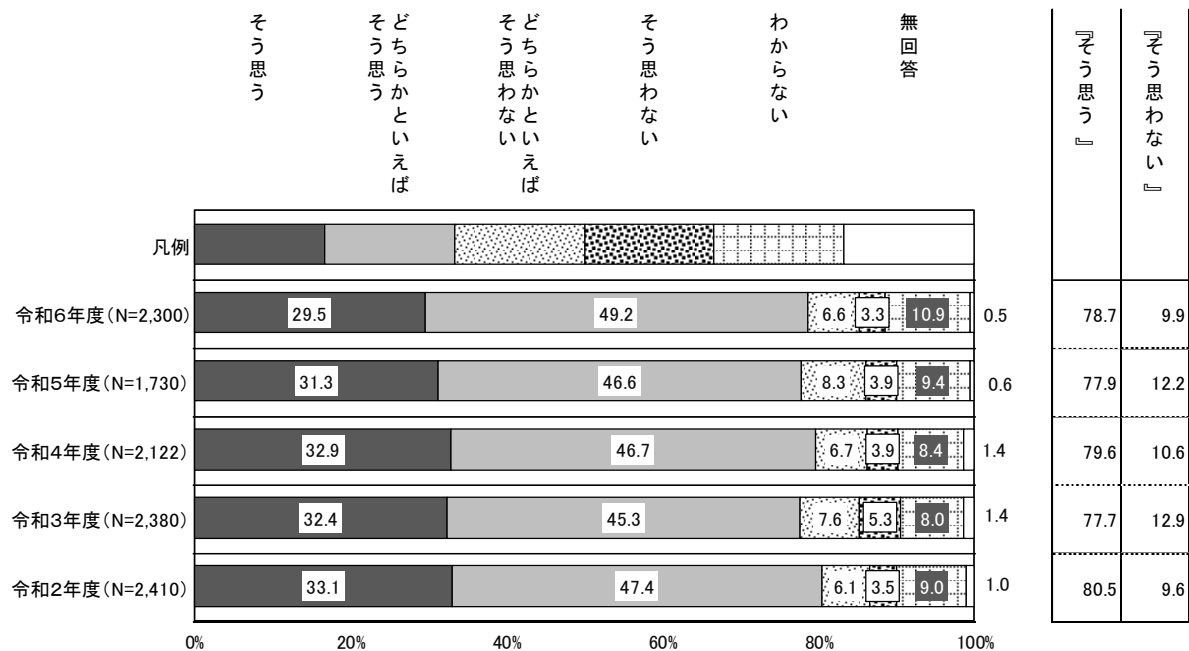
わずかではあるが、否定派（＝「どちらかといえば移りたい」＋「移りたい」の計）は3.3%であった。

図表 福岡市にずっと住みたいと思うか【5年間の推移】



「福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたい」は、肯定派（＝「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」の計）が8割近く（78.7%）を占め、高い水準を維持している。

図表 福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うか【5年間の推移】



以上のように、4指標のうち3指標が過去最高を記録した前回に次ぐ高い割合となっており、多くの市民が、今の暮らしに満足し、これからも福岡市に住み続けたいと思っている。

福岡市民の価値観が多様化しても、市民一人ひとりの福岡市に対する愛着や満足度は、それぞれ高い水準を維持している。

（２）福岡市の都市環境などの満足度（問５）

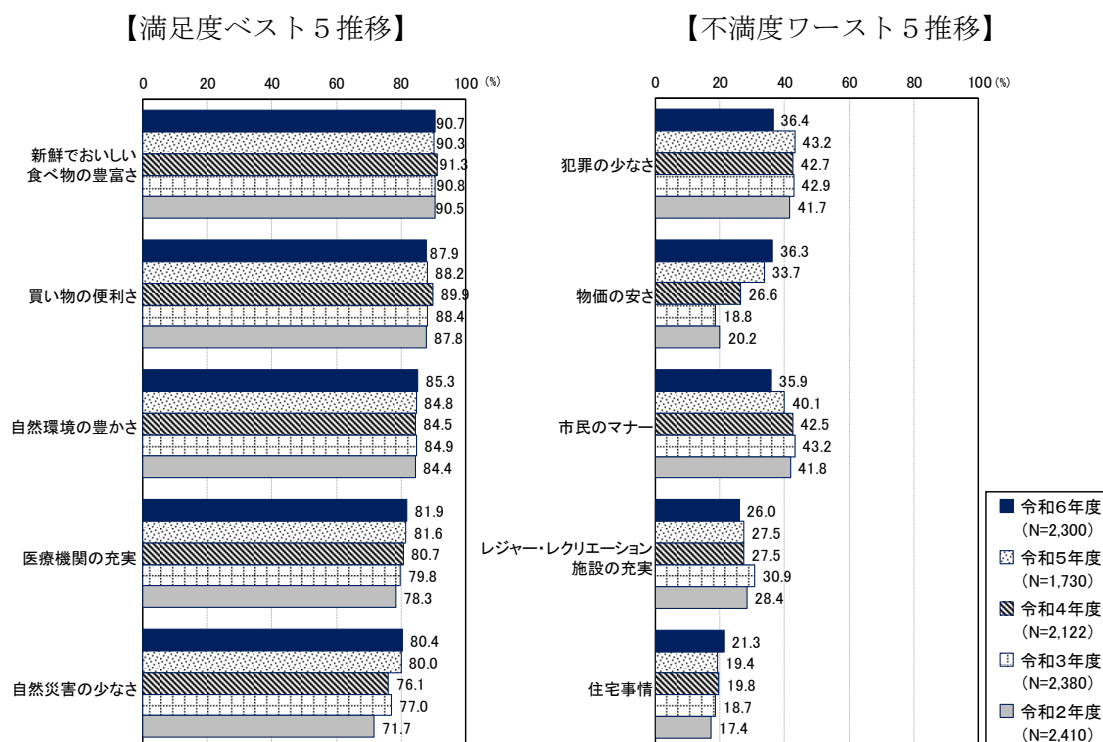
福岡市の都市環境などについて、「満足度」（＝「満足している」＋「どちらかといえば満足」の計）及び「不満度」（＝「不満がある」＋「どちらかといえば不満」の計）の特徴と経年推移について述べる。

「満足度」については、上位項目の「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」、「買い物の便利さ」、「自然環境の豊かさ」、「医療機関の充実」、「自然災害の少なさ」の５項目は前年度と順位は変わらず、全て80%を超えている。高い水準ながら、上位５項目のうち４項目は、前年度からさらに割合は上昇している。

「不満度」が高いものは、「犯罪の少なさ」、「物価の安さ」、「市民のマナー」、「レジャー・レクリエーション施設の充実」、「住宅事情」で、前年度から「住宅事情」が「地域住民の連帯感の強さ」（７位）に替わってワースト５に入ったが、「物価の安さ」、「住宅事情」を除く３項目は、数値自体は改善（不満度が低下）している。

不満度が上昇した「物価の安さ」、「住宅事情」は、全国的に続く物価等の上昇が一因と考えられる。

図表 都市環境などについての満足度推移



(3)「福岡市の都市環境などの満足度」と「好き」「住みやすい」との相関分析

「福岡市の都市環境などの満足度」と「福岡市が好き」「福岡市は住みやすい」について、それぞれ相関係数（下枠参照）をもとに、相関分析を行い、それぞれの評価との関係性について考察した。

※相関係数：2つのデータがどれだけ関連性があるのかを示す係数で、-1～+1の間の数値となる。
関連性が強ければ1に近づき、低ければ0に近づく。逆に、正反対の動きであれば-1に近づく。

「福岡市が好き」と「福岡市の都市環境などの満足度」において、最も相関係数が高いのは、前年度同様「人の親切や人情味」で0.348の正の相関を示し、「子育てのしやすさ」(0.268)、「地域住民の連帯感の強さ」(0.251)などが上位となった。市民が安心して暮らすための項目が、福岡市に愛着を感じる重要な要素となっている。

「子育てのしやすさ」は、前年度の6位から順位、数値とも上昇したほか、「就業機会の多さ」は前年度の12位から順位、数値とも大きく上昇し、令和元年度調査並の数値となった。

「子育てのしやすさ」、「地域住民の連帯感の強さ」、「就業機会の多さ」は、他の項目と比較して市民の満足度は高くないものの、「好き」との相関性は高い。令和元年度調査では相関係数が0.3を超えて上位5位以内であった「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」、「自然環境の豊かさ」は、順位と数値を下げた。

図表 『好き』と「都市環境などの満足度」の相関係数と都市環境などの満足度
【過去の調査との比較】

項目	相関係数 (問1と問5)		満足度(%) (問5)	
	令和6年度	令和元年度	令和6年度	令和元年度
人の親切や人情味	0.348	0.376	76.6	73.7
子育てのしやすさ	0.268	0.260	53.3	49.8
地域住民の連帯感の強さ	0.251	0.297	50.2	49.2
教育環境	0.249	0.260	59.0	55.5
就業機会の多さ	0.244	0.246	50.3	45.4
自然環境の豊かさ	0.239	0.309	85.3	78.5
市民のマナー	0.225	0.271	52.2	40.8
新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	0.216	0.313	90.7	87.1
住宅事情	0.214	0.269	73.3	69.0
芸術・文化水準	0.210	0.289	65.1	62.4
買い物の便利さ	0.207	0.295	87.9	82.5
交通の便	0.207	0.230	78.7	71.7
福祉の充実	0.172	0.236	50.9	44.8
医療機関の充実	0.163	0.215	81.9	75.1
犯罪の少なさ	0.149	0.176	44.0	36.5
レジャー・レクリエーション施設の充実	0.139	0.206	55.8	49.2
物価の安さ	0.120	0.245	54.1	68.9
自然災害の少なさ	0.107	0.230	80.4	72.5

「福岡市は住みやすい」と「福岡市の都市環境などの満足度」の相関関係をみると、「子育てのしやすさ」で0.304の正の相関を示し、「住宅事情」(0.296)、「人の親切や人情味」(0.289)、「買い物の便利さ」(0.285)なども相関係数が高い。

上位3項目含め令和元年度調査から数値が低下した項目が多いが、「好き」同様、「子育てのしやすさ」、「人の親切や人情味」が上位となっている。このほか、「住宅事情」、「買い物の便利さ」、「教育環境」など、上位5項目は、順位は異なるが前年度と同じ項目となっている。

子育て環境や住宅事情、教育、買い物便など、市民生活との関わりの強い都市環境に関する項目の相関係数が上位となっているのも、前年同様である。

図表 『住みやすい』と「都市環境などの満足度」の相関係数と都市環境などの満足度
【過去の調査との比較】

項目	相関係数 (問2と問5)		満足度(%) (問5)	
	令和6年度	令和元年度	令和6年度	令和元年度
子育てのしやすさ	0.304	0.321	53.3	49.8
住宅事情	0.296	0.321	73.3	69.0
人の親切や人情味	0.289	0.363	76.6	73.7
買い物の便利さ	0.285	0.366	87.9	82.5
教育環境	0.271	0.302	59.0	55.5
交通の便	0.268	0.291	78.7	71.7
就業機会の多さ	0.258	0.277	50.3	45.4
新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	0.257	0.328	90.7	87.1
自然環境の豊かさ	0.257	0.324	85.3	78.5
福祉の充実	0.239	0.284	50.9	44.8
市民のマナー	0.219	0.250	52.2	40.8
地域住民の連帯感の強さ	0.211	0.291	50.2	49.2
医療機関の充実	0.208	0.263	81.9	75.1
物価の安さ	0.204	0.311	54.1	68.9
芸術・文化水準	0.203	0.267	65.1	62.4
レジャー・レクリエーション施設の充実	0.192	0.225	55.8	49.2
犯罪の少なさ	0.148	0.198	44.0	36.5
自然災害の少なさ	0.125	0.208	80.4	72.5

2. 「福岡市の住みやすさ」に関する調査結果

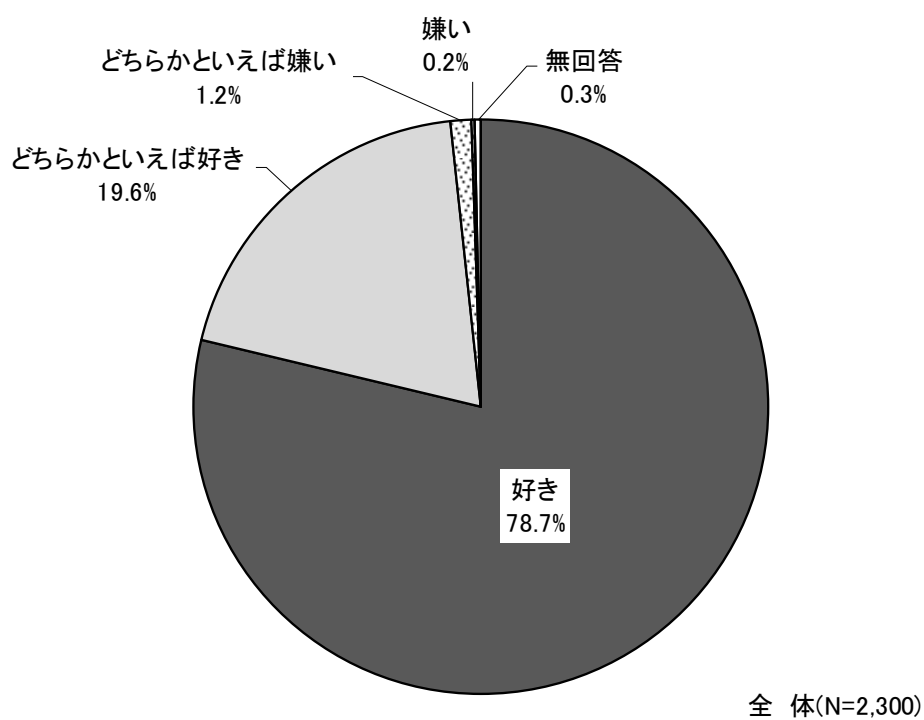
(1) 福岡市が好きか

問1 あなたは、福岡市が好きですか。あてはまるものを**1つだけ**選んでください。

福岡市が好きかについて聞いたところ、「好き」が78.7%と最も多く、次いで「どちらかといえば好き」(19.6%)となっている。

また、『好き』(=「好き」+「どちらかといえば好き」)の割合は98.3%で9割台後半となっている。一方、『嫌い』(=「嫌い」+「どちらかといえば嫌い」)の割合は1.4%となっている。

図表 福岡市が好きか【全体】

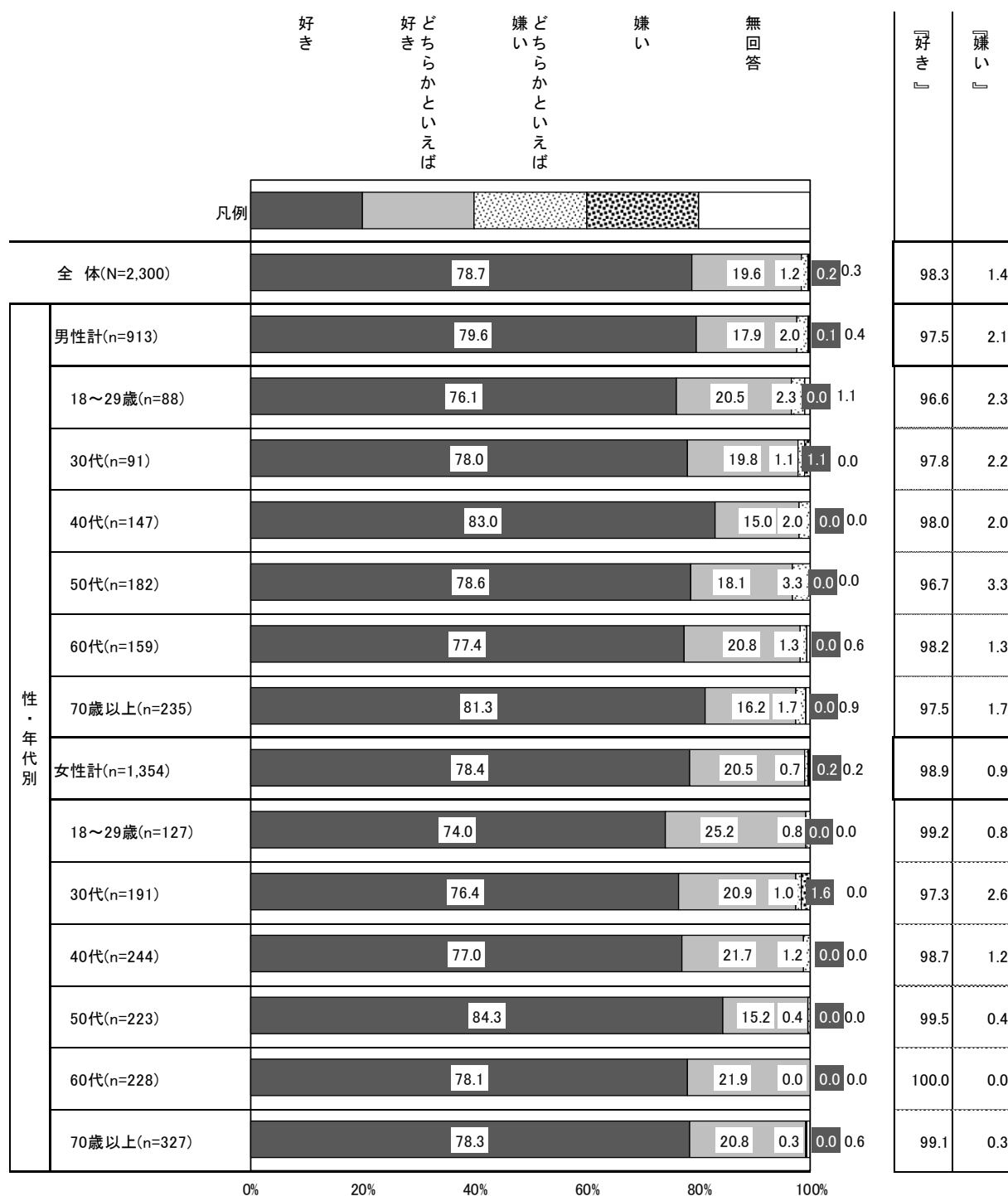


『好き』	98.3%
『嫌い』	1.4%

性別にみると、男女ともに『好き』の割合が9割を超えている。

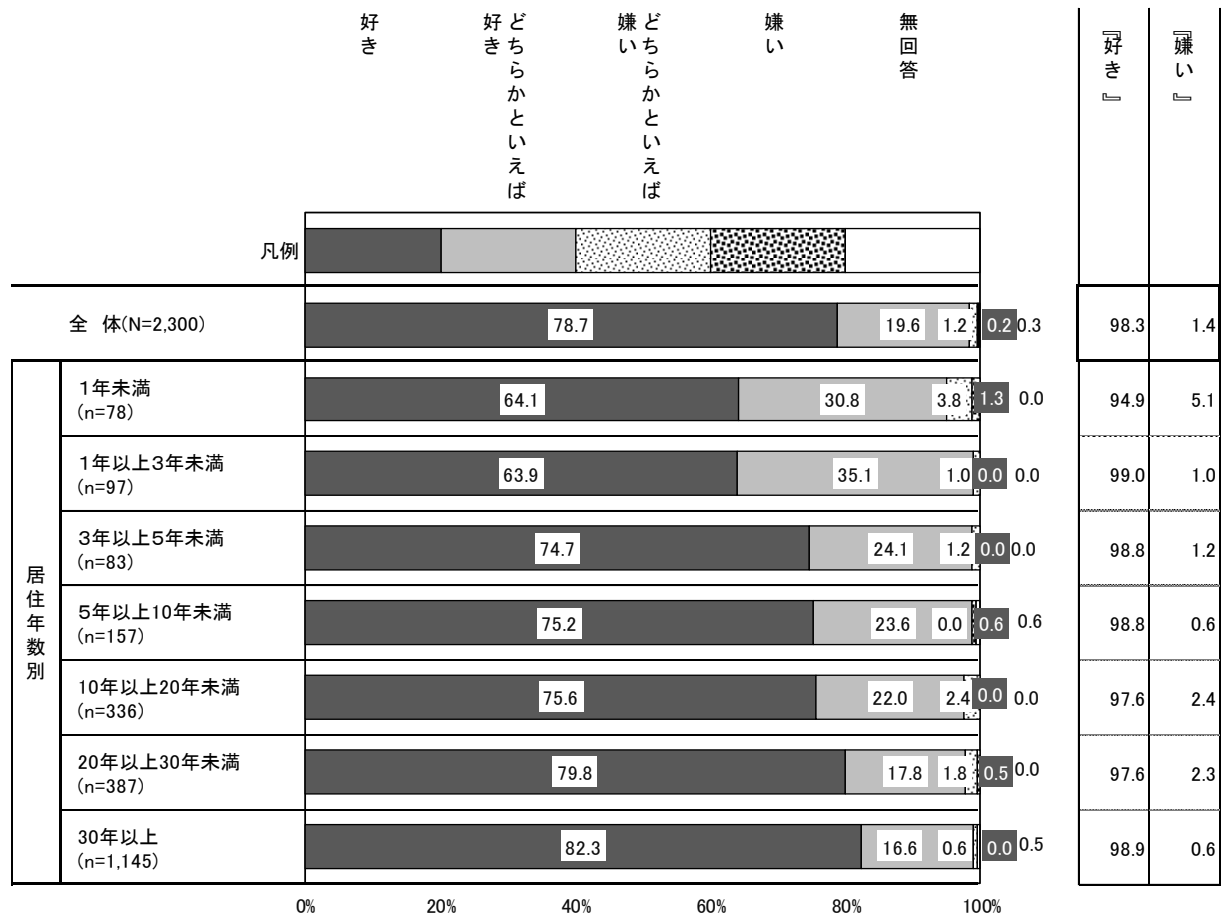
性・年代別にみると、男女ともにいずれの年代でも『好き』の割合が9割を超えている。その内訳をみると、男性40代・70歳以上及び女性50代では「好き」が8割を超えている。

図表 福岡市が好きか【性・年代別】



居住年数別にみると、概ね居住年数が長いほど「好き」の割合が高くなっており、30年以上では「好き」の割合が82.3%と最も高くなっている。

図表 福岡市が好きか【居住年数別】



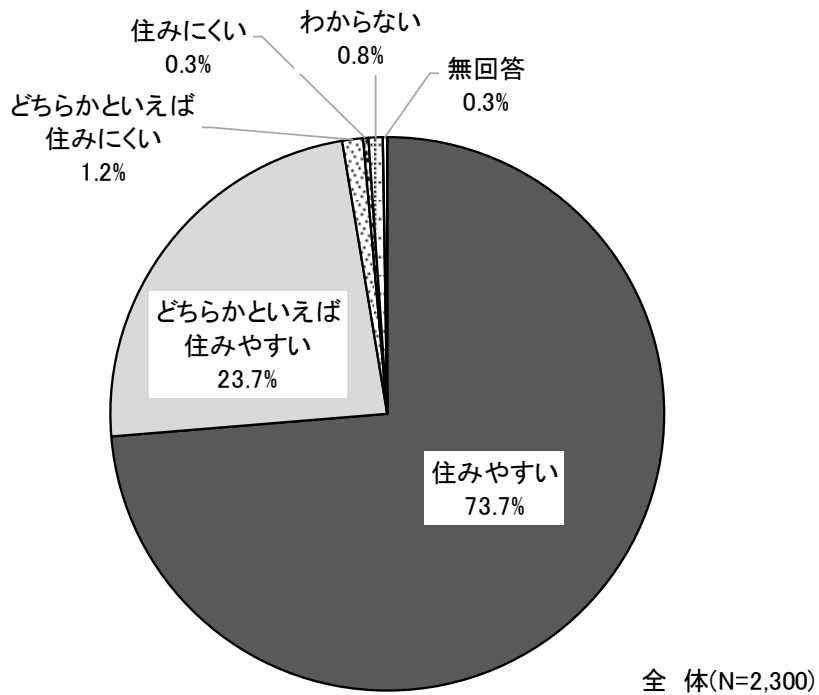
（２）福岡市は住みやすいと思うか

問２ 総合的にみて、福岡市は住みやすいと思いますか。あてはまるものを**１つだけ**選んでください。

総合的にみて、福岡市は住みやすいと思うかについて聞いたところ、「住みやすい」が 73.7%と最も多く、次いで「どちらかといえば住みやすい」(23.7%) となっている。

また、『住みやすい』(=「住みやすい」+「どちらかといえば住みやすい」)の割合は 97.4%で 9 割台後半となっている。一方、『住みにくい』(=「住みにくい」+「どちらかといえば住みにくい」)の割合は 1.5%となっている。

図表 福岡市は住みやすいと思うか【全体】



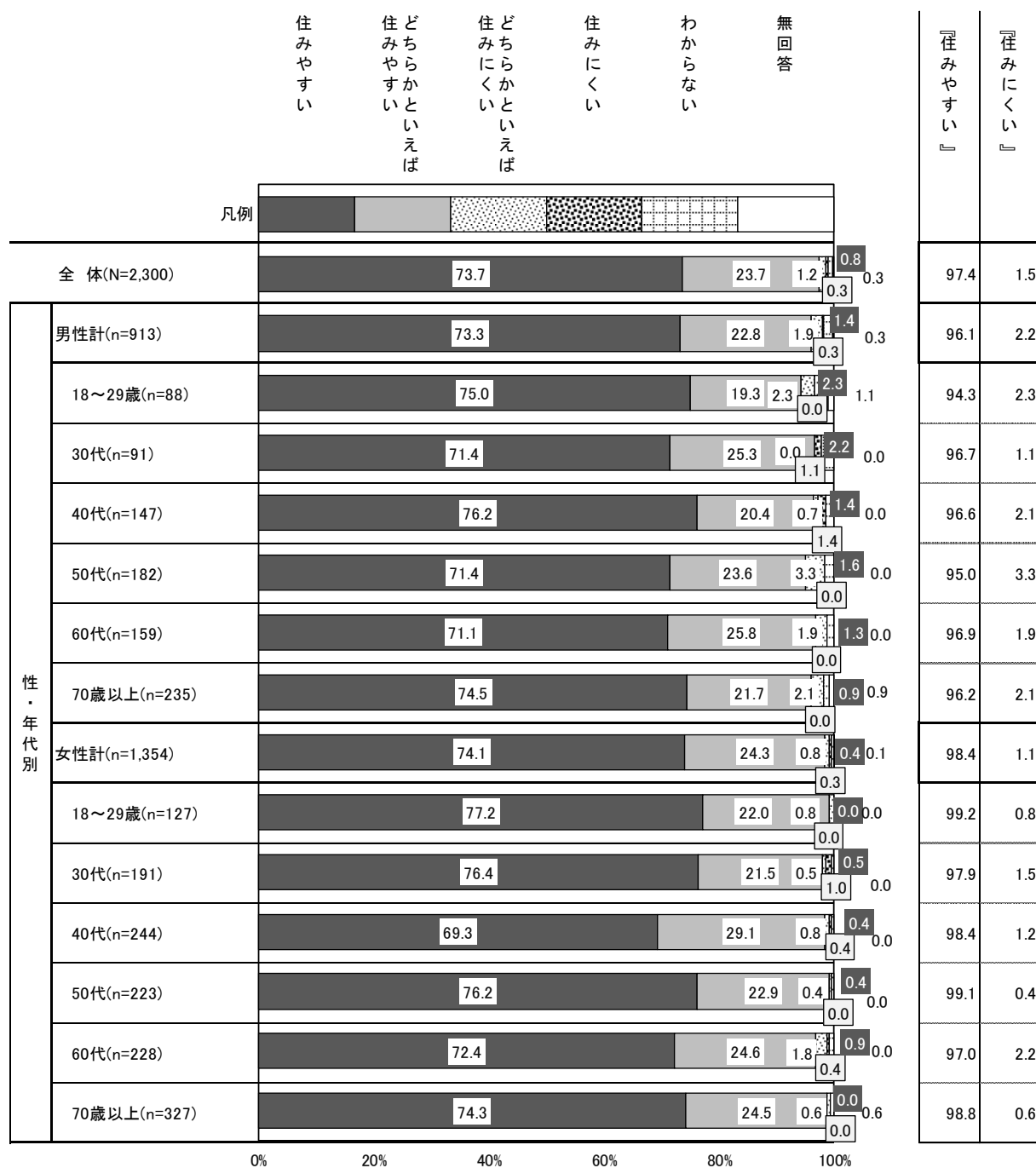
『住みやすい』	97.4%
『住みにくい』	1.5%

性別にみると、男女ともに『住みやすい』の割合が9割を超えている。

性・年代別にみると、男女ともにいずれの年代でも『住みやすい』の割合が9割を超えている。

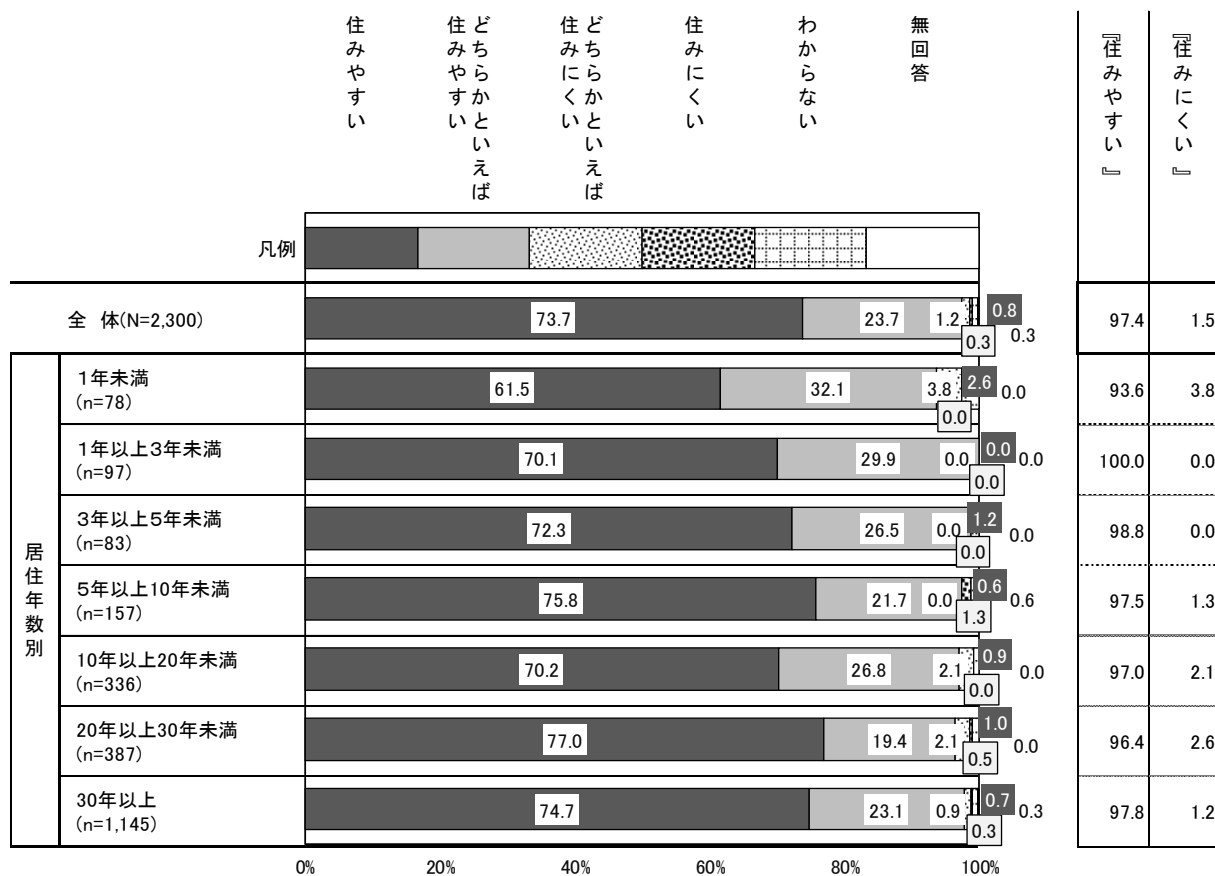
その内訳をみると、女性40代で「住みやすい」が6割台と、他の性・年代に比べて低くなっている。

図表 福岡市は住みやすいと思うか【性・年代別】



居住年数別にみると、いずれの居住年数においても『住みやすい』の割合が9割を超えており、1年以上3年未満では『住みやすい』の割合が100.0%となっている。

図表 福岡市は住みやすいと思うか【居住年数別】



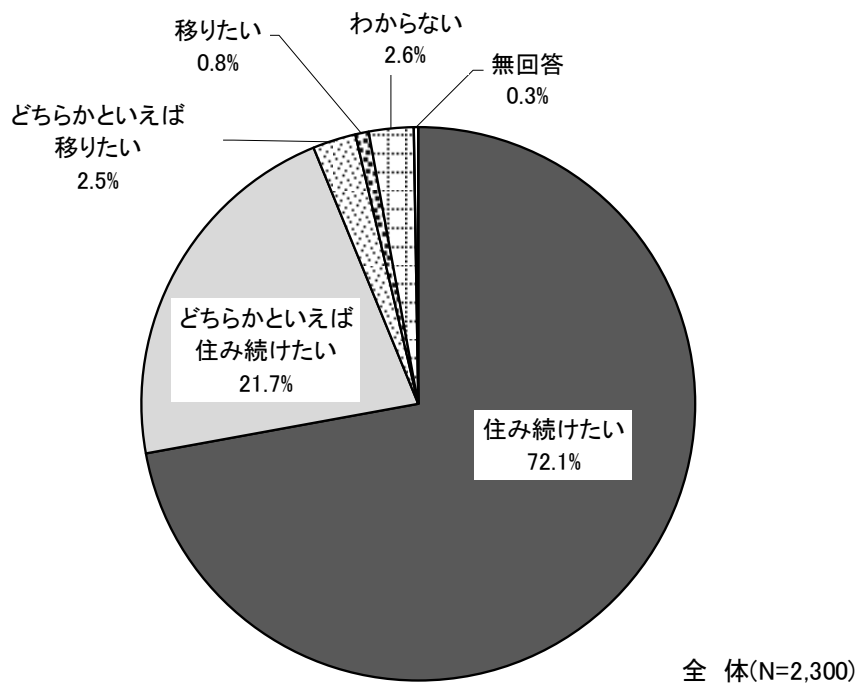
(3) 福岡市にずっと住み続けたいと思うか

問3 あなたは、事情が許せば福岡市にずっと住み続けたいと思いますか。あてはまるものを**1つだけ**選んでください。

事情が許せば福岡市にずっと住み続けたいと思うかについて聞いたところ、「住み続けたい」が72.1%と最も多く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」(21.7%)となっている。

また、『住み続けたい』(=「住み続けたい」+「どちらかといえば住み続けたい」)の割合は93.8%となっている。一方、『移りたい』(=「移りたい」+「どちらかといえば移りたい」)の割合は3.3%となっている。

図表 福岡市にずっと住み続けたいと思うか【全体】

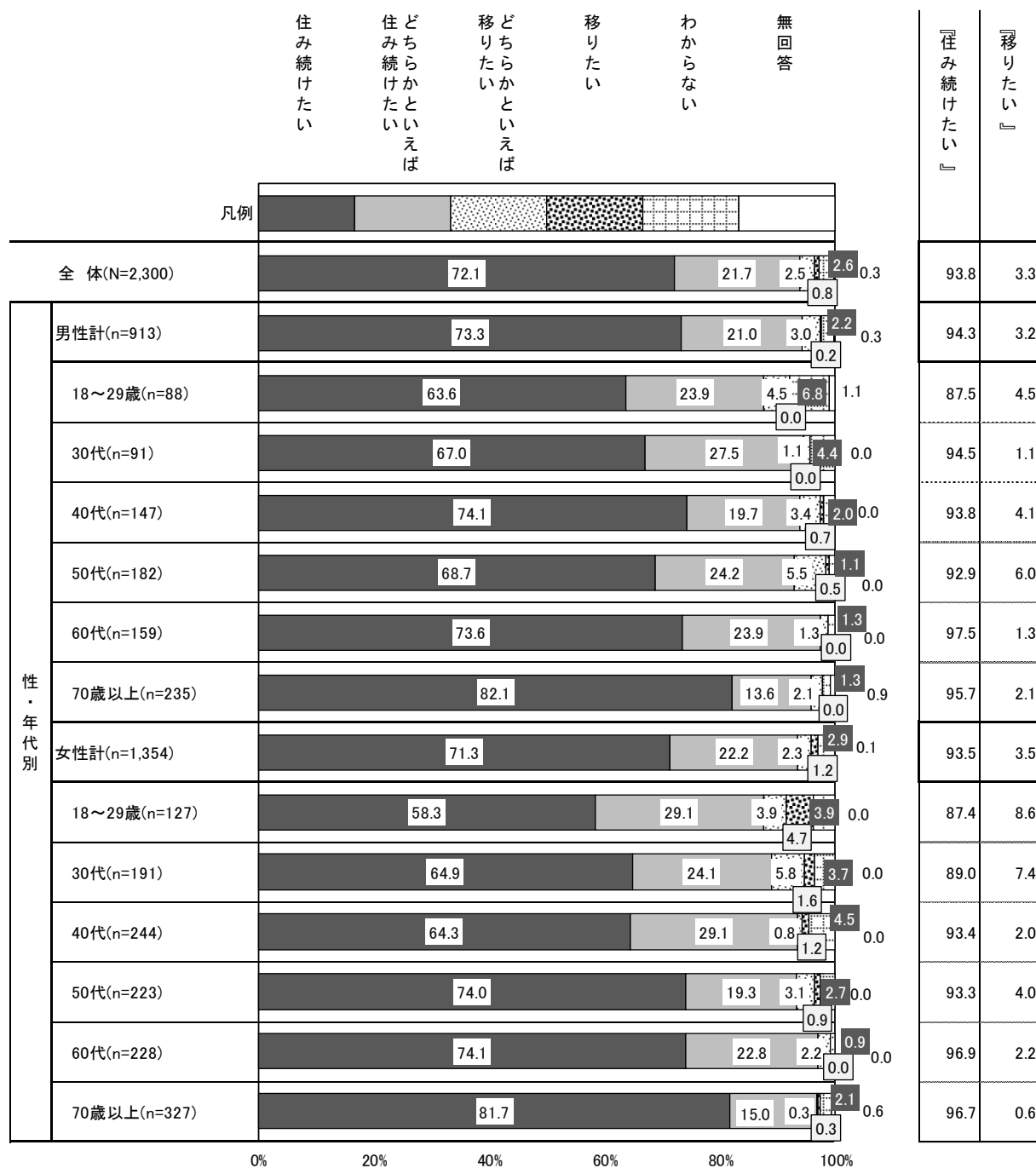


『住み続けたい』	93.8%
『移りたい』	3.3%

性別にみると、男女ともに『住み続けたい』の割合が9割を超えている。

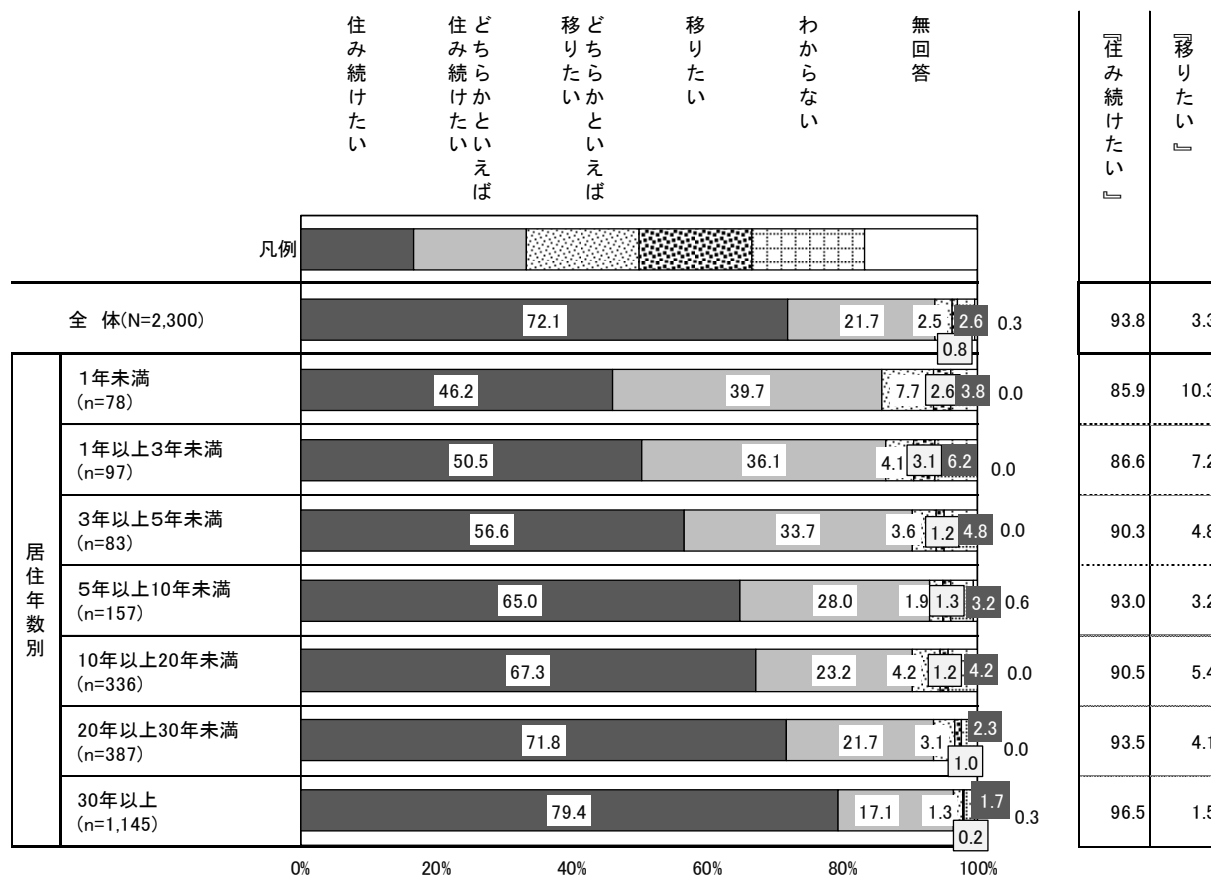
性・年代別にみると、男女ともに70歳以上では「住み続けたい」の割合が8割を超えており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 福岡市にずっと住み続けたいと思うか【性・年代別】



居住年数別にみると、居住年数が長くなるほど「住み続けたい」の割合が高くなっており、30年以上では79.4%と最も高くなっている。

図表 福岡市にずっと住み続けたいと思うか【居住年数別】



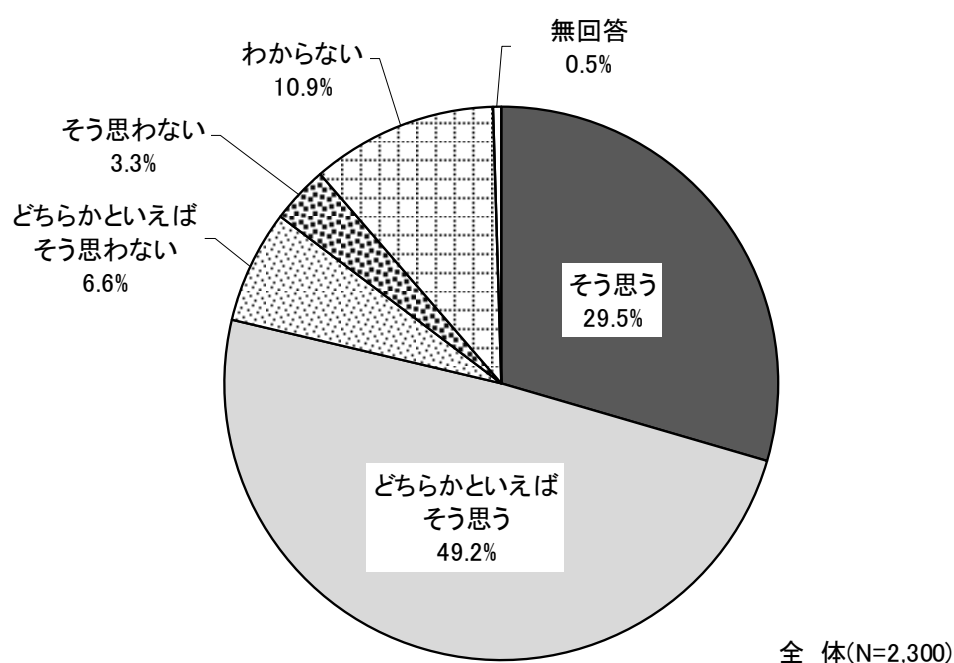
（４）福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うか

問４ あなたは、福岡市で暮らす人や福岡市を訪れる人のために、何か役に立ちたいと思いますか。あてはまるものを**１つだけ**選んでください。

福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うかについて聞いたところ、「どちらかといえ
ばそう思う」が49.2%と最も多く、次いで「そう思う」(29.5%)となっている。

また、『そう思う』(=「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)の割合は78.7%となっ
ている。一方、『そう思わない』(=「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」)の割合
は9.9%となっている。

図表 福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うか【全体】

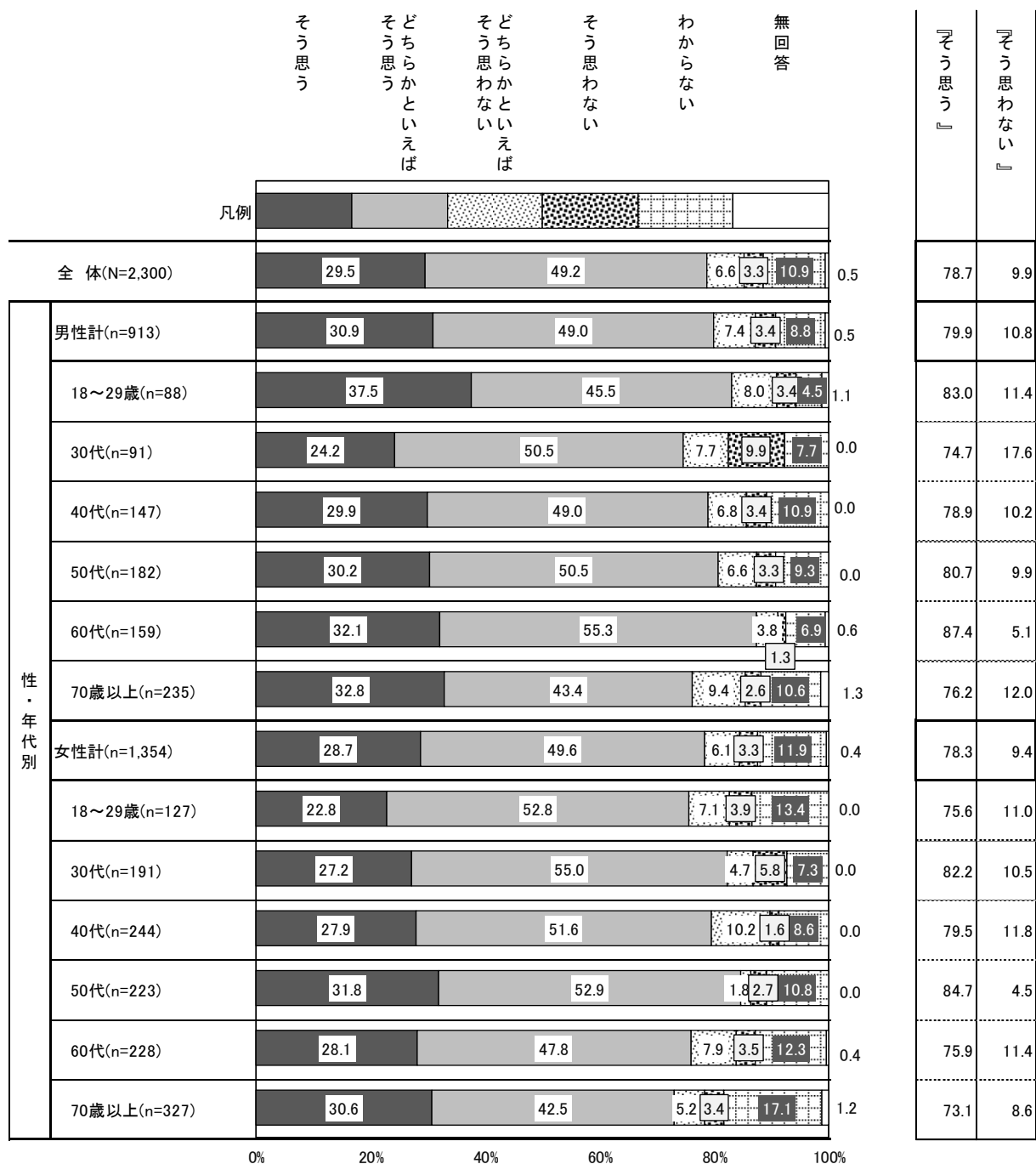


『そう思う』	78.7%
『そう思わない』	9.9%

性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年代別にみると、男性 18～29 歳・50 代・60 代、女性 30 代・50 代では、『そう思う』の割合が 8 割台となっており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うか【性・年代別】



（５）福岡市の都市環境などに関する満足度

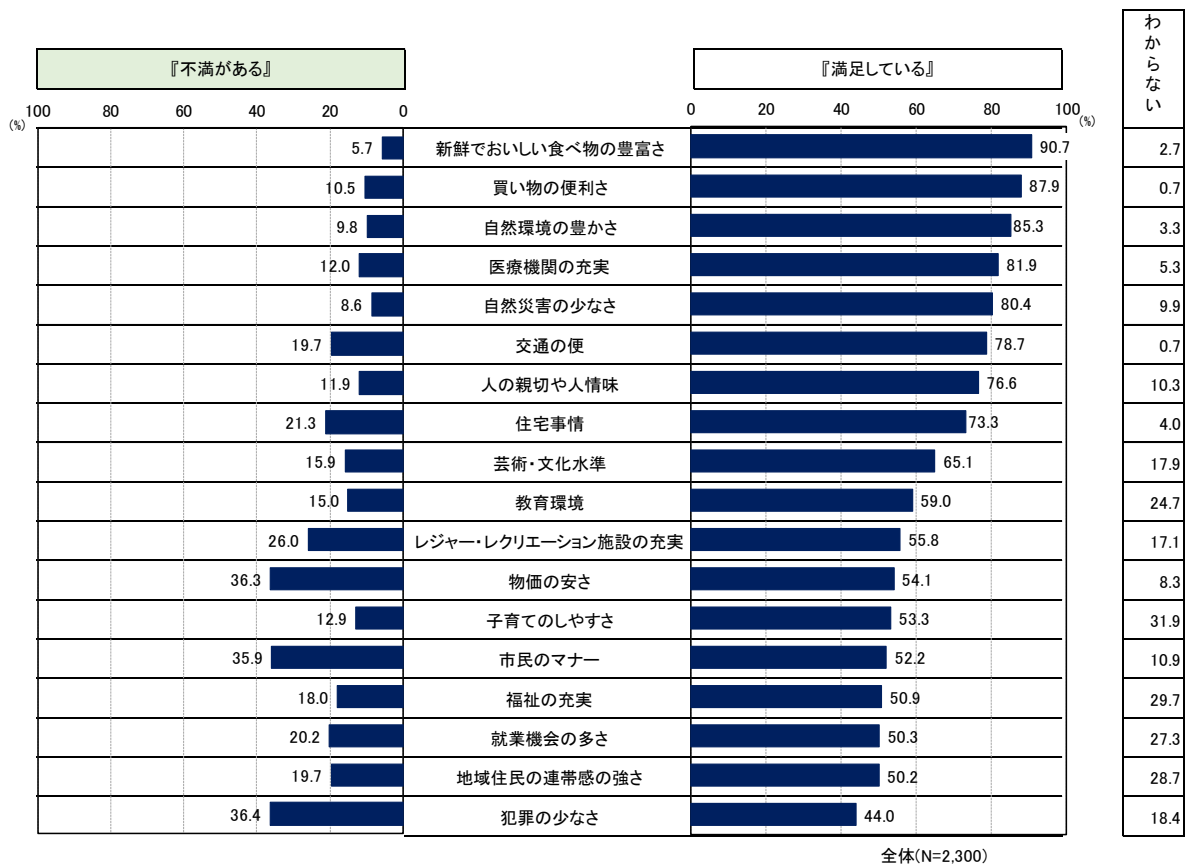
問５ 以下の福岡市の都市環境などについて、どの程度満足していますか。もしくは不満がありますか。（１）～（１８）のそれぞれについて、あてはまるものを**１つずつ**選んでください。

福岡市の都市環境などで、『満足している』（＝「満足している」＋「どちらかといえば満足」）の割合は「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」が 90.7％と最も多く、次いで「買い物の便利さ」（87.9％）、「自然環境の豊かさ」（85.3％）となっている。

一方、『不満がある』（＝「不満がある」＋「どちらかといえば不満」）の割合は「犯罪の少なさ」が 36.4％と最も多く、次いで「物価の安さ」（36.3％）となっている。

また、「わからない」は「子育てのしやすさ」が 31.9％と最も多く、次いで「福祉の充実」（29.7％）、「地域住民の連帯感の強さ」（28.7％）、「就業機会の多さ」（27.3％）となっている。

図表 福岡市の都市環境などに関する満足度【全体】



福岡市の都市環境などで『満足している』点について、性別にみると、男女ともに「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」（男性：92.4%、女性：89.8%）の満足度が最も高くなっている。

性・年代別にみると、女性 18～29 歳では「買い物の便利さ」の満足度が最も高くなっている。

図表 福岡市の都市環境などで『満足している』点【性・年代別】

単位：%										
	調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ
全 体	2,300	85.3 (3位)	73.3	78.7	87.9 (2位)	54.1	90.7 (1位)	65.1	59.0	53.3
男性計	913	85.5 (3位)	72.6	78.4	88.1 (2位)	56.7	92.4 (1位)	64.8	62.0	54.6
18～29歳	88	88.6 (3位)	72.7	78.4	89.7 (2位)	57.9	90.9 (1位)	63.7	70.5	44.3
30代	91	82.4 (4位)	68.2	74.8	92.3 (2位)	59.4	93.4 (1位)	63.8	55.0	50.6
40代	147	82.3 (5位)	71.4	81.6	89.8 (2位)	55.7	95.3 (1位)	58.5	57.1	57.1
50代	182	83.5 (3位)	70.3	74.2	87.9 (2位)	56.0	92.9 (1位)	66.5	59.3	53.9
60代	159	90.0 (2位)	68.6	73.0	88.7 (3位)	54.7	93.1 (1位)	67.2	62.3	52.2
70歳以上	235	87.2 (4位)	79.1	83.4	85.1 (5位)	58.3	89.8 (1位)	66.4	66.8	60.4
女性計	1,354	85.4 (3位)	73.6	79.1 (5位)	88.2 (2位)	52.6	89.8 (1位)	65.9	57.4	52.9
18～29歳	127	81.9	83.4 (4位)	86.6 (3位)	94.5 (1位)	49.6	87.4 (2位)	61.4	52.0	33.9
30代	191	82.2 (5位)	65.4	83.7 (4位)	90.0 (2位)	47.6	91.1 (1位)	69.6	53.4	51.3
40代	244	84.8 (3位)	71.7	81.1 (5位)	92.2 (2位)	52.1	93.0 (1位)	66.4	56.1	54.9
50代	223	90.5 (3位)	72.6	71.3	91.9 (2位)	59.2	92.4 (1位)	61.9	57.9	57.9
60代	228	85.5 (3位)	71.5	76.7	86.4 (2位)	53.0	89.0 (1位)	71.0	58.8	57.9
70歳以上	327	85.3 (2位)	77.6	78.9	80.1 (5位)	52.9	87.2 (1位)	64.5	61.5	53.2

就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域住民の連帯感の強さ	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	レジャー・レクリエーション施設の充実	
50.3	81.9 (4位)	50.9	76.6	50.2	80.4 (5位)	44.0	52.2	55.8	全 体
53.9	82.7 (5位)	54.1	77.1	49.5	82.8 (4位)	48.0	52.0	58.9	男性計
59.1	83.0 (4位)	67.0	79.6	50.0	81.9 (5位)	54.6	67.1	67.0	18～29歳
53.9	82.5 (3位)	40.7	74.7	44.0	81.4 (5位)	36.3	42.9	62.7	30代
51.0	83.7 (3位)	43.6	75.5	47.0	83.0 (4位)	43.5	46.2	46.2	40代
53.8	79.6 (4位)	51.1	76.9	55.0	79.1 (5位)	44.5	43.4	55.5	50代
49.6	78.6	52.2	79.9 (5位)	48.4	81.7 (4位)	45.3	50.3	64.7	60代
56.6	87.7 (2位)	65.1	77.0	50.2	87.6 (3位)	57.9	61.3	60.9	70歳以上
48.5	81.6 (4位)	48.7	76.1	50.5	79.1 (5位)	41.0	52.4	54.0	女性計
55.9	82.7 (5位)	51.9	69.3	44.1	74.8	38.6	52.8	56.7	18～29歳
52.9	84.8 (3位)	47.2	75.4	45.0	77.4	34.6	49.2	54.9	30代
52.5	80.7	44.3	82.4 (4位)	54.1	78.2	37.7	54.1	57.0	40代
49.4	80.7 (4位)	46.7	78.5 (5位)	54.2	76.2	38.1	49.7	53.4	50代
47.0	78.1 (5位)	46.5	73.3	48.3	81.1 (4位)	39.9	48.7	50.9	60代
41.2	83.5 (3位)	55.6	75.6	53.2	83.5 (3位)	51.4	58.1	52.0	70歳以上

福岡市の都市環境などで『満足している』点について、行政区別にみると、東区、中央区、南区、西区では「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」、博多区、城南区、早良区では「買い物の便利さ」の満足度が最も高くなっている。

図表 福岡市の都市環境などで『満足している』点【行政区別】

単位: %

	調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ
全 体	2,300	85.3	73.3	78.7	87.9	54.1	90.7	65.1	59.0	53.3
東区	467	87.6	76.6	78.4	87.1	54.0	91.7	66.4	57.6	51.8
博多区	315	80.9	69.9	86.4	91.8	55.3	87.3	62.5	50.5	45.4
中央区	307	82.0	69.7	84.0	91.8	55.1	92.2	64.9	53.1	46.6
南区	368	83.4	72.9	70.1	81.8	52.2	90.5	63.6	60.9	55.5
城南区	189	87.8	70.4	76.8	93.1	53.5	92.0	70.9	67.8	60.8
早良区	332	87.0	72.0	82.3	90.4	50.3	89.2	63.3	65.4	59.4
西区	294	89.5	78.9	73.9	84.4	59.9	93.2	68.3	61.5	58.1

就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域住民の連帯感の強さ	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	レジャー・レクリエーション施設の充実	
50.3	81.9	50.9	76.6	50.2	80.4	44.0	52.2	55.8	全 体
53.1	81.6	49.1	76.9	52.5	81.2	41.5	51.8	57.2	東区
50.2	79.7	45.7	77.1	47.0	78.1	41.6	48.6	55.9	博多区
44.7	79.8	46.9	76.9	42.0	75.2	41.3	51.1	52.1	中央区
51.9	82.9	51.1	75.5	48.4	80.9	46.0	55.2	54.4	南区
53.5	87.3	61.3	82.0	54.5	80.9	46.5	56.0	58.2	城南区
48.8	85.2	56.3	75.3	52.7	81.6	40.6	50.9	56.3	早良区
51.7	78.9	49.6	74.1	53.4	84.7	51.1	52.7	57.8	西区

福岡市の都市環境などで『不満がある』点について、性別にみると、男性は「犯罪の少なさ」(39.0%)、女性は「物価の安さ」(37.1%)の不満度が最も高くなっている。

性・年代別にみると、男性 18～29 歳、女性 18～29 歳・30 代・70 歳以上では「物価の安さ」、男性 30 代・50 代・60 代、女性 60 代では「市民のマナー」、男性 40 代・70 歳以上、女性 40 代・50 代では「犯罪の少なさ」の不満度が最も高くなっている。

図表 福岡市の都市環境などで『不満がある』点【性・年代別】

単位: %

	調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ
全 体	2,300	9.8	21.3 (5位)	19.7	10.5	36.3 (2位)	5.7	15.9	15.0	12.9
男性計	913	10.5	22.9	20.7	10.7	35.3 (3位)	4.3	17.2	15.7	14.5
18～29歳	88	5.6	20.4 (5位)	19.3	7.9	35.2 (1位)	5.6	22.7 (4位)	13.6	11.4
30代	91	13.2	26.4 (5位)	24.2	6.6	31.9 (3位)	3.3	9.9	9.9	12.1
40代	147	15.6	25.8 (5位)	18.3	8.9	39.5 (4位)	2.1	18.4	18.4	17.0
50代	182	10.9	25.2 (5位)	24.1	10.9	37.9 (3位)	3.2	19.2	17.5	14.8
60代	159	8.2	28.3 (5位)	27.1	11.3	40.2 (3位)	7.0	20.7	18.3	17.6
70歳以上	235	8.5	15.7	15.4	13.6	28.9 (3位)	4.7	13.6	13.2	12.4
女性計	1,354	9.1	20.3 (5位)	19.2	10.0	37.1 (1位)	6.6	15.1	14.6	11.8
18～29歳	127	11.8	10.2	13.4	5.5	41.7 (1位)	7.1	15.7	16.5	11.0
30代	191	11.5	30.9 (5位)	15.7	8.9	46.6 (1位)	6.8	12.5	15.2	14.7
40代	244	9.9	24.2 (5位)	17.6	6.5	39.0 (2位)	3.7	15.6	19.3	15.2
50代	223	6.2	19.7	27.3 (5位)	7.2	30.5 (3位)	5.4	19.7	18.3	12.1
60代	228	9.7	23.2	20.7	11.4	36.9 (2位)	7.9	14.9	15.8	11.8
70歳以上	327	7.9	13.5	18.0	15.9	32.4 (1位)	8.2	12.8	6.7	7.9

就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域住民の連帯感の強さ	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	施設の充実 レジャー・レクリエーション	
20.2	12.0	18.0	11.9	19.7	8.6	36.4 (1位)	35.9 (3位)	26.0 (4位)	全 体
20.5	11.9	19.4	13.6	23.7 (5位)	8.9	39.0 (1位)	38.2 (2位)	27.1 (4位)	男性計
17.0	7.9	6.8	11.4	18.2	9.1	33.0 (2位)	27.2 (3位)	18.2	18～29歳
17.6	9.9	7.7	13.2	14.3	9.9	40.7 (2位)	41.8 (1位)	30.8 (4位)	30代
20.4	12.9	19.0	16.3	23.8	10.2	48.3 (1位)	46.3 (2位)	40.8 (3位)	40代
24.2	14.8	22.5	14.8	21.4	8.2	43.4 (2位)	47.8 (1位)	27.5 (4位)	50代
27.7	17.6	30.2 (4位)	13.8	26.4	9.4	40.3 (2位)	44.1 (1位)	24.5	60代
15.3	7.2	18.8	11.0	28.9 (2位)	7.3	29.8 (1位)	25.5 (4位)	21.7 (5位)	70歳以上
19.9	12.0	17.2	11.0	17.3	8.5	34.8 (2位)	34.5 (3位)	25.5 (4位)	女性計
16.5	10.3	13.4	21.2 (5位)	16.5	7.8	40.1 (2位)	38.6 (3位)	26.0 (4位)	18～29歳
26.1	10.5	8.9	13.6	18.9	12.0	43.5 (2位)	39.2 (3位)	33.0 (4位)	30代
19.7	10.7	12.7	9.8	11.0	8.6	42.2 (1位)	34.0 (3位)	28.7 (4位)	40代
24.2	14.3	22.0	7.6	15.2	10.7	37.6 (1位)	36.3 (2位)	28.2 (4位)	50代
22.3	15.3	23.2 (5位)	11.0	22.3	6.1	33.3 (3位)	39.5 (1位)	26.3 (4位)	60代
13.4	10.7	18.7 (5位)	8.5	19.6 (4位)	5.8	21.4 (3位)	25.0 (2位)	16.5	70歳以上

福岡市の都市環境などで『不満がある』点について、行政区別にみると、東区、中央区では「犯罪の少なさ」、博多区、西区では「市民のマナー」、南区、城南区、早良区では「物価の安さ」の不満度が最も高くなっている。

図表 福岡市の都市環境などで『不満がある』点【行政区別】

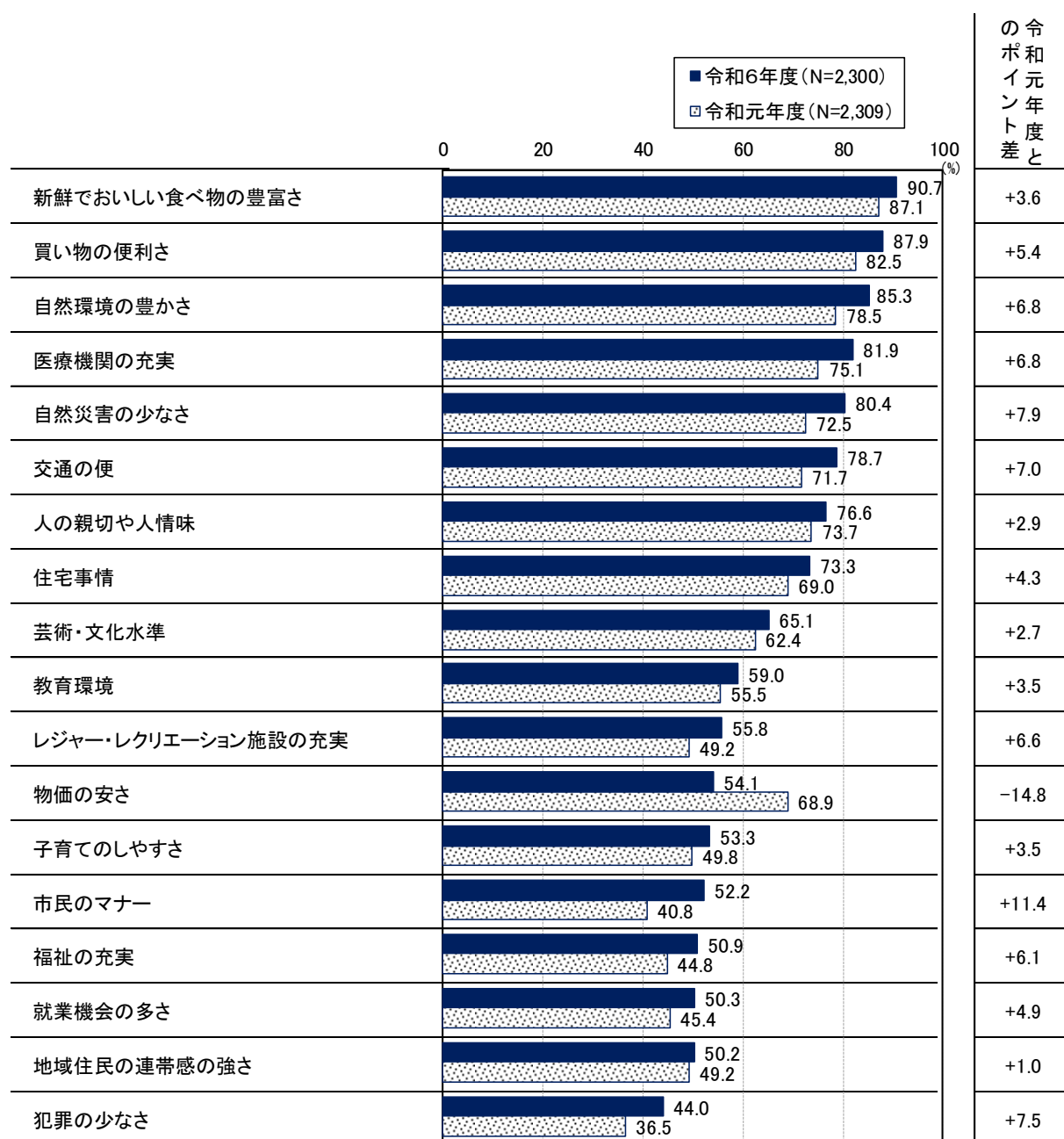
単位: %

	調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ
全 体	2,300	9.8	21.3	19.7	10.5	36.3	5.7	15.9	15.0	12.9
東区	467	9.6	20.0	20.3	11.5	37.3	5.0	14.6	18.9	16.5
博多区	315	12.7	22.8	12.4	6.6	36.2	7.3	14.0	14.6	8.9
中央区	307	13.1	23.5	15.0	7.5	35.5	5.5	23.8	14.3	12.4
南区	368	11.7	23.1	28.6	16.1	38.0	5.4	16.0	14.4	14.4
城南区	189	8.4	22.8	22.7	6.9	37.1	6.9	14.8	15.3	12.7
早良区	332	6.9	20.8	14.4	7.5	38.2	6.9	16.0	14.1	12.9
西区	294	4.8	17.0	25.2	13.2	31.3	3.8	12.9	12.5	10.6

就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域住民の連帯感の強さ	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	レジャー・レクリエーション施設の充実	
20.2	12.0	18.0	11.9	19.7	8.6	36.4	35.9	26.0	全 体
21.5	12.4	20.2	11.4	18.6	8.1	39.2	35.6	26.2	東区
19.7	13.0	17.2	9.6	17.4	9.2	35.3	38.7	21.0	博多区
21.1	14.0	16.7	12.7	24.4	12.1	41.4	39.0	30.9	中央区
20.4	12.0	20.4	14.4	21.2	9.5	35.1	34.8	28.8	南区
22.3	8.5	14.3	9.5	20.1	8.5	36.5	31.2	26.4	城南区
18.4	8.1	16.0	11.7	19.0	7.2	37.3	36.7	25.0	早良区
18.7	15.7	19.4	14.0	19.3	5.8	29.9	35.0	24.5	西区

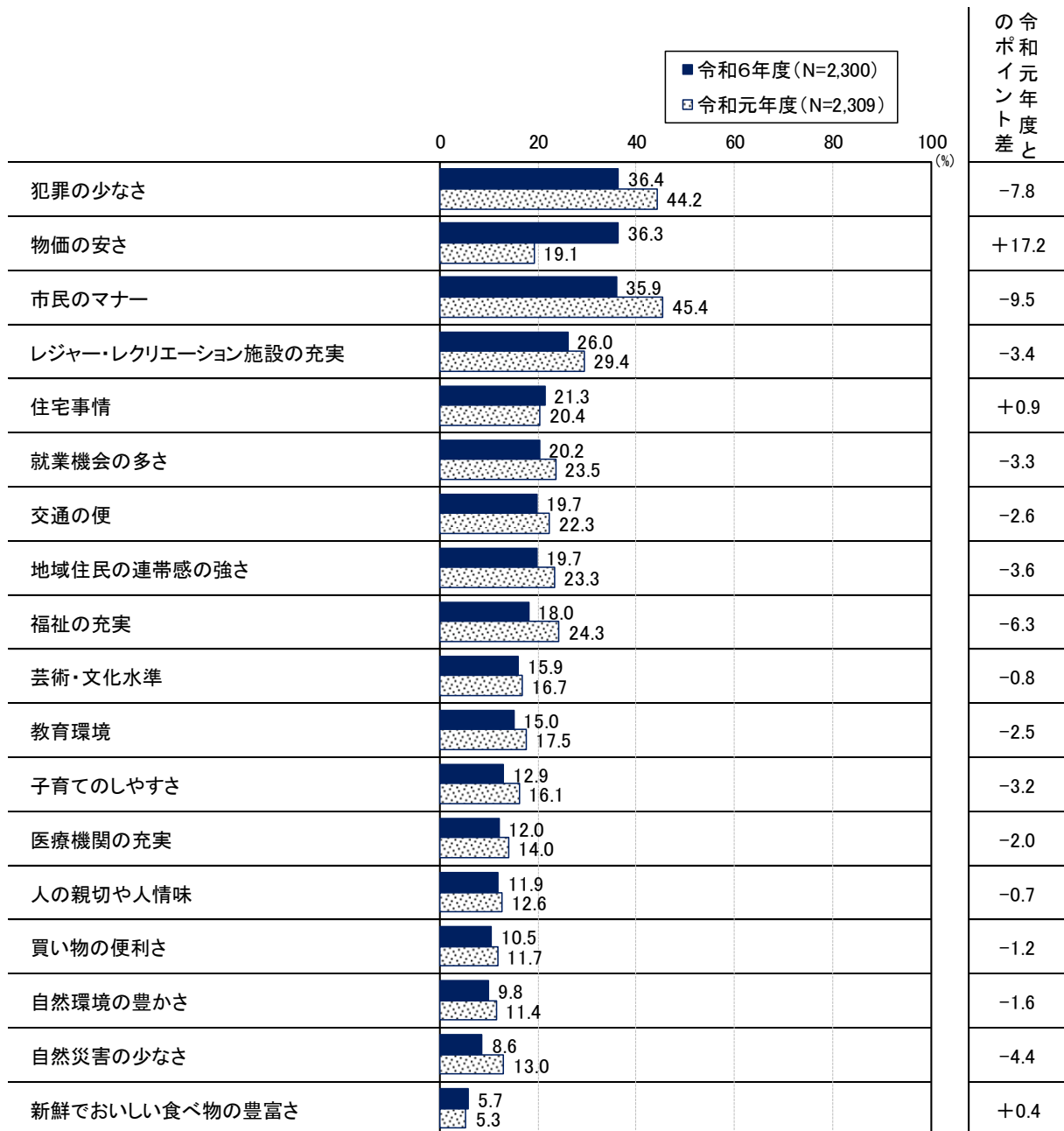
満足度について、過去の調査結果と比較すると、令和6年度は令和元年度に比べて、満足度が高くなった項目が17項目、低くなった項目が1項目となっている。令和元年度と比べて特にポイントの差が大きいものについてみると、「市民のマナー」が11.4ポイント増加、次いで「自然災害の少なさ」が7.9ポイント増加、「犯罪の少なさ」が7.5ポイントの増加となっている。逆に、「物価の安さ」は14.8ポイントの減少となっている。

図表 福岡市の都市環境などに関する満足度【過去の調査との比較】



不満度について、過去の調査結果と比較すると、令和6年度は令和元年度に比べて、不満度が低くなった項目が15項目、高くなった項目が3項目となっている。令和元年度と比べてポイントの差が大きいものについてみると、「市民のマナー」が9.5ポイント減少、「犯罪の少なさ」が7.8ポイント減少となっている。逆に、「物価の安さ」が17.2ポイント増加している。

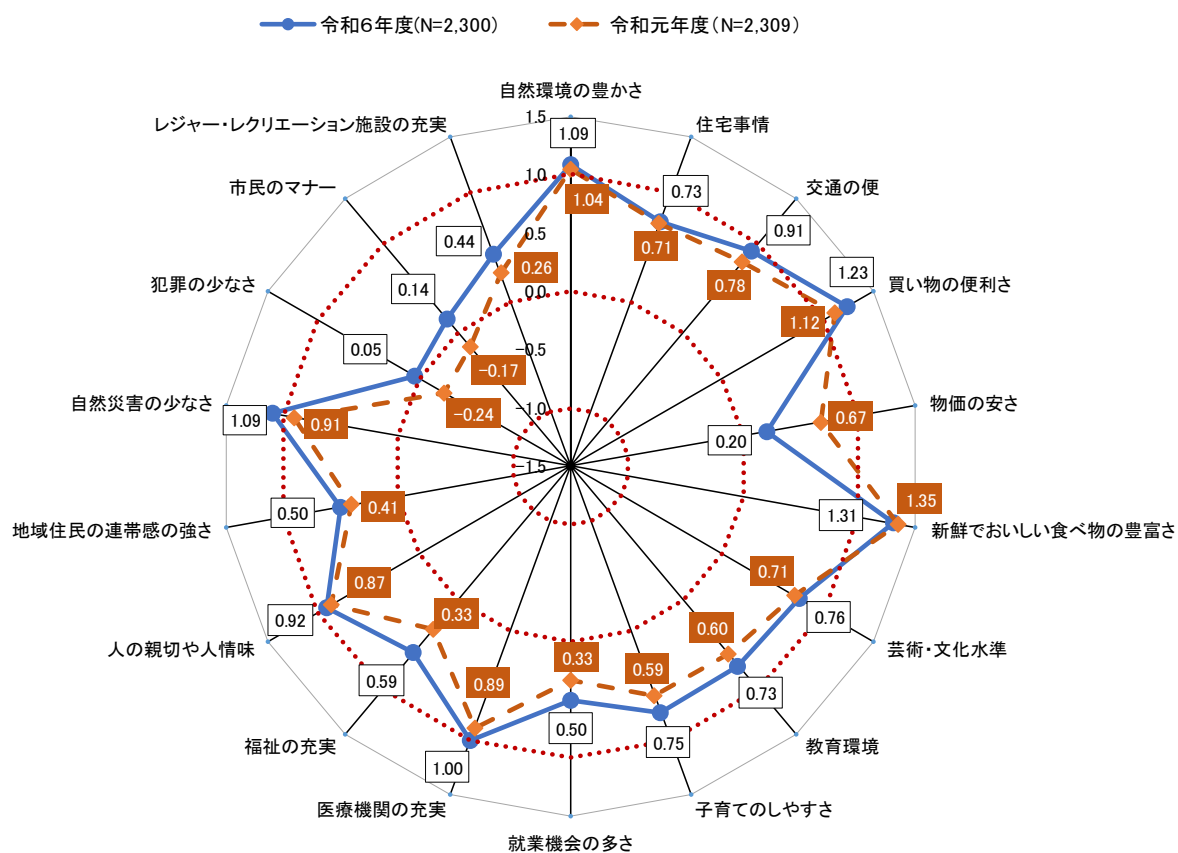
図表 福岡市の都市環境などに関する不満度【過去の調査との比較】



福岡市の都市環境などの満足度について、平均評定値※を過去の調査結果と比較すると、「自然環境の豊かさ」「買い物の便利さ」「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」は令和元年度と令和6年度のどちらも平均評定値が1.00を超えている。また、「犯罪の少なさ」「市民のマナー」は令和元年度では平均評定値がマイナスとなっていたが、令和6年度ではプラスに転じている。

また、令和6年度は令和元年度と比べ、18項目中16項目でポイントが上がっている。特に「市民のマナー」(+0.31)、「犯罪の少なさ」(+0.29)、「福祉の充実」(+0.26)の数値が向上している。

図表 福岡市の都市環境などに関する満足度（平均評定値）【過去の調査との比較】



※平均評定値について

イメージ等、通常は数値的に評価することができないものを定量的に評価するため、「満足している」：+2点、「どちらかといえば満足」：+1点、「どちらかといえば不満」：-1点、「不満がある」：-2点と回答を得点化し、この平均を求めたもの。したがって、+2点に近いほど「肯定（好意的）」、逆に-2点に近いほど「否定（非好意的）」であることを示す。

図表 福岡市の都市環境などに関する満足度（平均評定値）【過去の調査との比較】

単位: 点

	調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ
令和6年度	2,300	1.09	0.73	0.91	1.23	0.20	1.31	0.76	0.73	0.75
令和元年度	2,309	1.04	0.71	0.78	1.12	0.67	1.35	0.71	0.60	0.59

就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域住民の連帯感の強さ	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	レジャー・レクリエーション施設の充実	
0.50	1.00	0.59	0.92	0.50	1.09	0.05	0.14	0.44	令和6年度
0.33	0.89	0.33	0.87	0.41	0.91	-0.24	-0.17	0.26	令和元年度

※網掛けは「0.00」から最も遠い数値に行っている。